

議題	第2回運営推進会議
日時	2019年3月8日(金) 14:00~15:00
場所	デイサービス山風木
出席者	(順不同敬称略) 加屋町民生委員 K様 三島地区地域包括支援センター Y様 デイサービス山風木利用者様ご家族 K様、Y様、S様、A様、T様 デイサービス山風木センター長 渡部浩考 デイサービス山風木総括 渡部美保子 (議事録作成者) 渡部浩考 (議事進行者) 渡部美保子
会議の詳細	
<p>● ごあいさつ (センター長 渡部浩考) ～出席者のご紹介、本会議の趣旨(目的)について～</p> <p>● デイサービス山風木の運営状況 (センター長 渡部浩考)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ご利用状況の報告 →1年が経過して稼働率が向上・安定してきています。 →2年目はフル稼働での運営を目標に頑張っていきます。 ・スタッフ体制、資格等育成に関して。 <p>● デイサービス山風木の活動 (総括マネージャー 渡部美保子)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・半期の行事の確認。(防災訓練や認知症フェスティバルへの出展) ・認知症という病・事業所での取組方針について ・各種行事や季節活動 →活動の写真をプロジェクターにて投影 <p>● 認知症の理解を</p> <p>3月2日 三島市認知症フェスティバル →認知症の理解を進めるためのイベント</p> <p>地域・市民・医療・事業所 etc それぞれが認知症を正しく理解して助け合う社会が重要 →関連事業所と連携して、情報収集・発信活動をしていきます。</p> <p>● ご意見</p> <p>▼三島包括 Y様</p> <p>3/2の認知症フェスティバルでは、見守りシールをしっかりと知ってもらうことは大きな目的のひとつでもあった。見守りシールの他にキーホルダーもあります。こういうものの存在を知ってもらうこと。そして、どういう意味を持ったものなのかを理解してもらうことが普及活</p>	

動の基本になります。ご家族の安心のためでもあるので、良く知ってもらいたいし、周囲にも伝えていって欲しい。

→民生委員 K 様

話を聞いたことはあるが具体的にそれを発信したりしたことはない。

→三島包括 Y 様

スマホのアプリで QR コードを読み取らなければならないので、高齢の方には少しハードルが高いかもしれない。少しずつでも利用が増えることを期待しているし広報していきます。

→センター長 渡部

周囲の人が、このシールやキーホルダーを見て気付かないことには何もアクションが取れないので、まずは本当に知ってもらい話題にあげてもらうことが大事ですね。

▼利用者様家族 T 様

おかげさまで 100 歳の誕生日を迎えることができました。

静岡県の担当者が来て記念品をいただきました。総理大臣の名前が入った賞状もいただきました。家の中だと横になっていることが多いが、デイサービスに行くとシャンとしている写真を見せてもらい、やっぱり外に出ること。人の中に入ることは大事なんだなあ。と感じました。

→利用者様家族 K 様

うちの母親も同じです。家では寝てばかりいるが、デイには行きたいみたいで「今日は迎えに来るのか？」と聞かれる。デイサービスが自分の家だと思っているかもしれない(笑)。

→利用者様家族 Y 様

丁寧に対応してくれるので、安心できている。夫は和風な感じの事業所に共感したのかもしれない。もともと口数の少ない人だったが、最近は少し発語が増えている。帰ってきて何をしたかは覚えていないが、連絡帳を読んで活動を知るのが楽しみです。

▼利用者様家族 A 様

要介護 1 という認定が出ているが、認定の基準などがイマイチ理解できない。こんなに大変なのに・・・という思いはあるが、なんとかやりくりしている。しまい込んでしまう癖があるので、義歯がどこかにいってしまったりして探すだけで大変な騒ぎになる。

→統括 渡部

介護認定は三島市は厳しいのですかねえ(笑)。他の利用者様でもカバンの中にしまったりして、探し出すのに苦勞するケースはありますが、そういう病なので、探すのが私たちの仕事だと考え、時にはゴミ箱を全てひっくり返して探したりもしています。

→A 様

お風呂を嫌がって、デイへ出かけることを躊躇することがある。そういう場合の連絡も含めて、どういう時間帯に連絡を取り合ったらよいですか。

→統括 渡部

連絡は 9 時-17 時が基本営業時間なので、ご遠慮なくお電話ください。また 8 時過ぎには職員は出勤しているので、急ぎの連絡は 8 時過ぎでも大丈夫です。

お風呂については、強い拒否などはないので、無理強いするようなこともありませんでした。ただ、お風呂が面倒くさい。億劫だ。と考える方は多いので、「お風呂がイヤだ！」という印象だけが強く残ることがないように工夫していこうと思います。

▼民生委員 K 様

加屋町は古くからの人が多い。そして息子世代が家を出てしまっているのが、高齢者だけになってしまった世帯が増えているように感じている。民生委員をしているが、直接の相談はほとんど無くて、間接的に「〇〇さんの家が困っているみたいよ」という噂を聞きつけて様子うかがっている。その場合でも門前払いのような扱いをされることもある。

→三島包括 Y 様

そういう場合には三島包括にご連絡をいただいて、「三島市役所のもので。」というようなアプローチで突破口を開くキッカケは作れますので、よろしくお願いします。

→センター長 渡部

加屋町では、町内の 3 大行事のようなものはないのですか？ご近所が繋がる場が欲しいですね。

→民生委員 K 様

道路を歩行者天国にして「ふれあい広場」というものをやっていたが、ここ数年はやっていない。となり近所の関係が本当に希薄になってきている。大社の夏祭りでは加屋町の拠点を作るが、そこに寄ってくれる人も減っている。寄りにくい雰囲気なのかなあ。

→利用者様家族 T 様

特定の年代の人たちだけの活動になってしまっているかもしれないですね。

▼利用者様家族 S 様

失語などもあって、意思疎通がうまくいかずに、少しヒステリー気味になる自分がいたりして、正面から口論になってしまうことがある。

→利用者様家族 Y 様

娘さんという立場だと、お嫁さんと違って血縁者だから感情的になりやすいですね。

→利用者様家族 T 様

何をしたいのかを想像して、居心地の良い空間作りを考えてあげるしかないですね。

→統括 渡部

でも、夜中に外に出て行こうとしたり、家族もパニックになってしまいますよね。大変だと思います。ガス抜きも並行して進めながら、日々の変化に対応していきましょう。

→三島包括 Y様

街中ほっとサロンで家族会もやっていますので、活用してください。

▼センター長 渡部

たくさんのお意見ありがとうございました。こういう場に限らず、気になることがあったらいつでも教えてください。また困ったことも、いつでも相談してください。今後ともよろしく願いいたします。

次回の開催予定は2019年8月頃を予定しております。